

# 平成23年度 鹿児島玉龍中学校研究

## I 研究主題

「確かな学力」の定着・深化・活用を促す中高一貫教育の取組（1／2年次）

本校は、平成18年度に、鹿児島玉龍高等学校を母体とした、併設型の中高一貫教育校として創設された。6年間のゆとりある学校生活、計画的・継続的な教育指導及び幅広い異年齢集団活動等を展開することを目指している。

昨年度までの本校の研究は、平成24年度からの新学習指導要領の完全実施に向け、教育課程の編成を中心に研究を進めてきた。これまでの研究を通して、授業時数や中高合同の学校行事など本校の特色を生かした教育活動が展開できるようになってきた。

そこで、本年度は、これまでの取組内容を工夫・改善し、より教育活動が展開できるよう、「確かな学力」の定着・深化・活用を促す中高一貫教育の取組を研究主題に掲げ、基礎・基本の定着と個性の伸長を図る学習指導に視点を当て研究を進めていくこととした。

## II 研究視点

- 1 基礎・基本の定着を図る学習指導の工夫・改善
- 2 個性の伸長を図る学習指導の工夫・改善

## III 研究の実践

### 1 基礎・基本の定着を図る学習指導の工夫・改善

長期休業中、高校生の補習に合わせ、中学生も補充学習に取り組んだ。

また、各学年ごとに考査の成績を分析し、補充学習の必要な生徒を対象に朝の学習をサポートしている。各学年の教科バランスや生徒の実態に応じて柔軟に対応し、副担を中心に実施している。

#### 【長期休業中における学習面強化対策】

- 夏季特別講座〔1年～3年〕  
7月21日～7月28日  
・午前中3時間、国語、社会、数学、理科、英語の補充指導を実施
- オータムスタディースクール〔3年〕  
・ 秋季休業期間の9月28日～9月30日の（2泊3日）で学習会を実施  
・ 実施内容は、国語・社会・数学・英語の補充（発展）授業と確認テスト等  
・ 玉龍中から高校にあがった生徒による高校生活についての講話

### 【各学年の取組】

- 1年・・・AKB（あきらめずに、基礎・基本を、勉強する）
- 第1年学年の副担任による朝の補充講座（7：40～8：00）
    - ・ 数学・英語科より考査を参考に補充学習が必要な生徒を学年で20名程度ピックアップし、数学・英語の朝講座を開き重点指導を行った。
- 2年・・・苦手教科対策講座の実施
- 7時30分より国語・社会・数学・理科・英語の
    - ・ 教科担任がついて、補習授業を行った。
- 3年・・・ベーシックタイム（朝自習）を実施
- 7時45分から朝の自学自習を行う
    - ・ 高校へのつながり（高校の朝補習）意識した取組
    - ・ 教科を決めて、登校後すぐに自習を行う。

### 【単位時間の弾力的運用】

単位時間を弾力的に運用した授業の実践として、50分を朝の10分間を週5日間に分けて実施することで、50分授業の1コマにカウントした。これによって1週間の時間割上のコマ数としては図4に示す通りである。朝の10分間を活用し、効果的かつ十分な指導を行っていくという視点から各学年では図5に示されたねらいに基づいて年間指導計画を作成している。一週間の学習内容は、週行事予定表に記載し、生徒と教師が学習内容を事前に確認できるようにしている。この実践は、マス&モーニングイングリッシュシャワー（M&M）と名付けて、英語のリスニングや数学の計算を中心とした基礎的・基本的内容の定着を図るために設定し全学年で実施している。

#### M&Mにおける各学年ごとのねらい

- 【1年生】 正・負の数の計算や文字式の計算ができる。  
一次方程式や連立方程式を解くことができる。  
平面図形や空間図形の基本的な用語や各要素を理解できる。  
比例・反比例の意味を理解し、式やグラフをかくことができる。  
話されるまとまった英語の情報を聞いて、話の内容を理解することができる。
- 【2年生】 基本的な図形において、図形の性質を理解できる。  
一次関数の意味を理解し、式やグラフをかくことができる。  
確率の意味を理解し、様々な事象における確率を求めることができる。  
話されるまとまった英語の情報を聞いて、話の内容を理解することができる。
- 【3年生】 多項式や平方根の計算及び因数分解ができるとともに、方程式を解くことができる。  
円周角の定理と三平方の定理を活用することができる。  
2乗に比例する関数において、式やグラフをかくことができる。  
話されるまとまった英語の情報を聞いて、話の内容を理解することができる。

## 2 個性の伸長を図る学習指導の工夫・改善

### 【NES(Nature Experience Seminar)】

対象学年：2年生

時期：7月12日～14日（2泊3日）

活動内容：英会話学習・自然体験学習

- 英会話学習…留学生12名との英会話によるコミュニケーション活動
- 自然体験学習…霧島滝巡りウォーキング・オリエンテーリング等

### 【異年齢集団の交流】

鹿児島に伝わる縦割り教育「郷中教育」のように先輩が後輩に学習指導をすることを通して、異年齢の交流と学習意欲の高揚を図る取組を「玉龍郷中」と名付け、玉龍高校を卒業した大学生や高校生が中学生に、中学3年生が中学1・2年生に学習指導を行った。その中で数学を中心に実施している「郷中タイム」での学習形態としては、下に示すとおりである。

指導する学年	指導される学年	学習形態
高校1・2年生	中学3年生	1班4名に対して指導者1名
中学3年生	中学1年生	1班4名に対して指導者1名
中学3年生	中学2年生	1班4名に対して指導者1名

指導者としての高校生や中学生へは、事前に学習するプリントを配布し、生徒がつまづきそうなポイントや指導の観点等を指導した。また、教えてもらう対象となる生徒には、事前に教わる際の態度や言葉遣いなどを担任が指導してから取り組ませた。

### <キャリア教育プロジェクト>

- ◎ 進路意識をはっきりと持ち、主体的に自分自身の未来を切りひらく生徒の育成
- ◎ 大学や企業と連携した講座や体験活動の実施